



第170号

中之条自治会

就任のご挨拶

令和二年度自治会長

西澤 信義



新しい年を迎え、皆様には益々ご健勝のことと存じます。昨年行われました選挙により自治会長に選任されました。大変名誉なことであり、また、大きな不安とともに引き受けいたしました。先輩諸氏の足跡をしっかり追って、自治会員の皆様と共に、安心で暮らしやすい地域の創造に努力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

副自治会長に中澤伸夫氏、会計に羽田幸彦氏、総務部長に武石一幸氏、公民館長に中澤政嗣氏をお願いいたしましたところそれぞれ快くお引き受けいただきましたこと感謝いたします。

又各ブロックからも行動力のある正副ブロック長を選任いただきました。特別協議員として小坂井市会議員にも御参加いただき二十二名で自治会の運営に携わってまいります。

地域も十年前、二十年前と大きく様変わりしました。多くの農地が宅地になり世帯数も千戸を優に超え上田市でも二番三番の規模となりました。少子高齢化が叫ばれる中、この地は夕方になると子供たちが飛び回り大きな声や鳴き声で溢れ昭和の風景がそこにあるようです。もう暫くこんな賑やかさが続くのでしょうか。

それとともに、ごみの問題、交通安全の問題、防犯の問題、消火設備の充実、水田の水路が住宅地の間を流れ普段時の管理の問題など幾多の問題が生じます。最終的には人と人のかかわりの中でうまく対処するしかありません。新しく越してきた方には是非自治会に加入していただき、隣近所のコミュニケーションを密にとりトラブルが起きないように

日頃からご努力いただきたいと思っております。自治会でも、上田わっしょい、夏祭り、運動会、公民館のクラブ活動などをおこない、絆作りを目指します。政教分離のために自治会管理からは外れていますが、中之条には古くから宮川神社があり、春秋のお祭りが催されたり、墓地の一部を緑化してミニ公園として整備しています。お祭りにお出掛けいただいたり、お子さんと散歩したり、犬の散歩の時などによつていただいたりして身近に感じてください。小学校入学の安全祈願などもおこなっています。ほかにも文化財は沢山あります。五年の歳月をかけて出来上がりました『中之条誌』に載っています。多少残りが残ります。中之条の成り立ちがわかり、自治会員さんの必携なものと思います。千円で頒布しています。ご購入いただきご活用ください。

皆様笑顔で暮らせる地域づくりを目指します。皆様の声をお聞かせください。

最後になりましたが、昨年度の自治会運営にご尽力いただきました中澤照夫自治会長をはじめ役員・協議員の皆様には大変お疲れさまでした。今後も培った経験を地元の皆様と共有し、地域のリーダーとして、より良い古里づくりを御協力いただくことをお願いし、ご挨拶いたします。

退任のご挨拶

令和元年度自治会長

中澤 照夫

やわらかな光に春の訪れを感じられる季節となりました。自治会員の皆様におかれましてはお元気に過ごすごしのことと存じます。

新年を迎え、一月以降雪が少なく、温暖な日が続きました。一方で、新型コロナウイルスの感染拡大により、大変心配、深刻な事態となりました。穏やかな年になることを願うものであります。

昨年は、皆様のあたたかいご支援とご協力を賜り、自治会長の職責を果たすことができました。改めて感謝と御礼を申し上げる次第です。

そして前副自治会長はじめ自治会協議会役員の皆様には微力な私を支えていただき、「一つのチーム」として一年間共にご努力をいただきました。得難い経験を通して地域の素晴らしい仲間づくりができました。本当に感謝に堪えません。

昨年を振り返りますと、なんといいまでも台風十九号災害への対応が自治会活動における最大の出来事でした。普段私たちは「自治会」をことさら意識しないで生活し

ていますが、この度の台風や地震等の災害発生時においては、安否確認や避難誘導、避難所開設など、「自治会」が前面に出て活動する事例をテレビや新聞等を通じて数多く見聞したところです。

非常時において自治会が果たす役割の重要性を改めて認識するとともに、安全・安心な地域づくりは一朝一夕にできるものでなく、日頃の地道な積み重ねと、継続して取り組むことで達成できることを実感いたしました。

昨年度においても、子どもたちや高齢者の見守り、防犯灯の維持管理、水路等の清掃活動により事故を未然に防止すること等に取り組みしましたが、継続が必要な事業です。また、自治会内の自主防災組織の機動力を高めること、住民相互の支え合いづくり等は、今後取り組むべき課題となりました。

令和二年度の自治会長ほか役員各位にその対応をお願いすることになりますので、自治会員の皆様のご支援、ご協力を併せてお願いいたします。

結びとなりますが、中之条自治会の益々のご発展並びに自治会員の皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

令和二年度 新年総会報告

副自治会長 中澤 伸夫

令和二年一月十二日、午後一時より新年定期総会が中之条公民館で開催されました。冒頭高橋副自治会長より出席者及び委任状の総数が過半数を超え、総会が成立した旨の報告がありました。

中澤昭夫自治会長より挨拶及び実績報告があり、その主な要旨は次の通りです。

一、十月の台風十九号は中之条にも未曾有の被害をもたらしました。屋根の損壊や浸水被害を受けられた方々ほか区民の皆様は心からお見舞い申し上げます。

一、昨年末、市自治連から義援金の呼びかけがあり被災区民にお見舞い金を会計から支出しました。また別所線早期復旧についての署名活動に協力願いました。

一、台風襲来時には当初公民館に待機し役員・市議・民生委員と連携して避難指示の緊急連絡に当たり、千曲川ほか現場の確認と状況把握に努めました。独居高齢者の安全確認や避難支援の対応に注力しました。

一、被災後、被害報告を市へ緊急に報告し、罹災証明の対応や災害復旧への要望活動を行いました。

一、今回の非常時の経験を通じて、緊急連絡体制の確立、避難場所の開設・運営、高齢者支援、水路の清掃整備の四点が最重要と再認識でき、今後の「安全安心な地域づくり」の課題と現行体制の見直しの必要性が浮き彫りとなりました。

一、台風災害を教訓として、防災訓練ほか防災活動を強化し、令和二年度関連費用の増額をお願いしたい。

一、区民から行政への要望事項は十四項目あり、市職員と共に全て現地確認を実施しました。この中で、城南児童公園のすべり台更新ほか開始され、また電線地中化、道路拡幅工事ほか進行中で完成が待たれます。

一、防犯灯については、三基設置となりました。

一、念仏堂跡地利用について検討委員会を設け協議し、確定までの間は、住民交流憩いの場として活用します。

会計報告

萩原宏樹会計より、一般会計・特別会計・文化財保存基金会計・上田わっしょい(参加二〇〇名)会計収支報告、高木禎久公民館会計より公民館会計収支報告

滝澤安夫墓地緑地委員会会計より、墓地緑地収支報告

平田敬一監査委員より、いずれの会計も適正に処理されていた旨の監査報告があり、

承認されました。

新役員の紹介

中澤昭夫自治会長退任の挨拶
西澤信義自治会長就任の挨拶
議長・書記・議事録署名人を選出し議事に入りました。

議長 高橋 義幸氏
書記 中沢 克友氏

議事録署名人 山岸 丈貢氏
岡田 基幸氏
松本 博氏

●第一号議案(令和元年度収支予算案について)

羽田幸彦会計より、防災費増等の提案説明。質疑応答後承認されました。

●第二号議案(令和二年度会計監査員の選任について)

土屋恵嗣氏、工藤 真氏が推薦され承認されました。引き続き、恒例の新年祝賀会が盛大に行われました。

最後に自治会運営にご苦労頂いた前役員の皆様に感謝申し上げ総会の報告と致します。



総会風景

市政報告

市議会議員 小坂井 二郎

昨年の台風19号被害の尾を引きながら、令和2年が明けました。心配していた上田交通別所線千曲川橋梁を含む堤防も、別所線の橋脚と線路の一部を上田市が所有する条件で、国が95%を支出するということで、議会も了承しました。

多額の補助は、熊本地震に続いて2例目、私鉄の財産を取得するのは「前例がない」という処置で、緊急の復興が必要とは言い、不安の残る所です。朗報をもう一つ紹介します。台風19号による体育施設の復旧で、古舟グラウンド、同マレットゴルフ場に約1億9千万円余の予算が付きました。3月議会に提案され、令和3年度に繰り越し、同年中に完成になります。来年の今頃には、新しい古舟マレットゴルフ場でプレーが出来るかも知れません。ただ、現状は2m近い砂で覆われており、また、以前の本流から分かれた流れがすぐそばを流れており、出来ればミニ堤防が欲しい所です。まして、河川敷の中である事に変わりはなく、いつも流失を気にしていません。現在、築地地籍で2027年(令和9年)に、第87回長野国体テニ大会場が上田市に内定、用地交渉が始まっています。県営長野野球場の西側になります。この付近にはミニ野球場もあり、この付近に恒久的なマレット

場が出来ればと思います。昨年の12月27日をもって、千曲バス川西線(半過線)が廃止になりました。鹿教湯線の一部と武石線、祢津線も当面の間休止になりました。国の規制緩和の影響で観光、高速バスの新規参入業者が増え、更にダンピングの横行で、路線バスを運行している地域のバス会社の収益が悪化してしまいました。運転手の高齢化、給料が安いために路線を持たないバス会社に引き抜かれて更に悪化、普通免許しか持っていない人には、2年のシバリがあるものの、50万円の2種免許取得費を出してプロドライバーに育てても、他の会社が50万円を負担するからと、これも水の阿武という状態で、運転手が確保出来ずに運行停止に追い込まれました。朝の通勤時や、免許返納者の重要な買い物手段だっただけに大変残念であり、代替手段が必要で。最後に、毎日報道されているコロナウイルスについてです。感染の拡大が止まらず、ワクチンもなく、唯一の予防策は手洗いとマスクしかありません。そのマスクも入荷しても買い占められており、ネットでも高額で転売もされています。品薄に拍車をかけています。また、アルコール消毒液も品切れで、お手上げ状態です。ニュースを見ていると、マスクの製造の多くが中国で、今の日本経済を象徴している様です。一日も早い回復と終結を望みます。

生活環境部より

部長 松村 修二

今年度、生活環境部長を仰せつかりました第二ブロックの松村と申します。

自治会の皆様におかれましては、日頃より毎週のごみ収集、月一回の資源物回収に、ご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

今年も恒例の秋の環境美化清掃を九月に実施します。区民全員参加の作業ですので、お忙しいと存じますが、ご協力をお願い致します。

作業内容は、各ブロック内の道路沿い、川沿い、側溝等に落ちているごみ屑、空き缶等のごみ拾いです。収集したごみは、不燃ごみ・廃プラ類・可燃ごみに分別して、精穀所南側に搬入してください。皆様のご協力をお願い申し上げます。

生活環境部の活動ですが、五月にごみゼロ運動・児童公園の草刈りの実施、三月から十二月まで児童公園のごみ拾いを各ブロックの委員が、当番で行います。

秋の環境美化清掃について何かありましたら協議会等で検討させて頂きましてご相談ください。より美しい中之条となります様、皆様のご協力をお願い申し上げます。

土木部より

部長 西沢 正樹

今年度、土木部長を仰せつかりました西沢と申します。

各ブロックで選出されました土木部員様と共に力を尽くして参りたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

今年も春の環境整備を四月に実施致します。自治会全員参加の作業となっておりますので、お忙しいとは存じますが、ご協力をお願いいたします。

作業内容は、道路の土壌及び側溝水路の汚泥の除去作業とごみ拾いですが、土壌と汚泥処理に付きましては、昨年と同じ指定された集積場所をお願いいたします。作業には一輪車が必要になるかと思いますが、お持ちの方はお貸し願いたいと思います。ゴミにつきましては、不燃ゴミ・廃プラ類・可燃ゴミに、各ブロック毎に分別して、精穀所南側に搬入して下さい。より美しい中之条となりますよう皆様のご協力をお願い申し上げます。

本年度の児童公園の草刈りは、各団体にもご協力をお願いし、五月から九月まで毎月行うことを予定しています。一年間宜しくお願い致します。

安全部より

部長 滝沢 幸次郎

令和二年度の安全部長を仰せつかりました第一ブロックの滝沢と申します。宜しくお願いいたします。

安全部の活動についてお知らせします。

春に、一部カーブミラーの清掃作業を行います。

春、秋、冬、年末の交通安全運動期間中に、街頭指導を行います。

毎年のこととなりますが、七月には車両協力費の納付のお願いをする予定です。

車両協力費につきましては、安全部員が皆様のご家庭に伺い、お願いすることになります。その際には、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

最後に、この一年、皆様方が、事故や怪我の無い一年になる事を願っております。



防犯部より

部長 飯塚 弘之

令和2年度の当区の防犯部長を仰せつかりました。各ブロックで選出された防犯指導員の皆様のお力をお借りしながら、地区の安心、安全を目標に、活動してまいる所存でございます。

「年間行事予定」

4月 春の地域安全運動
5月～10月頃まで

上田駅前周辺パトロール

7月 夏の地域安全運動

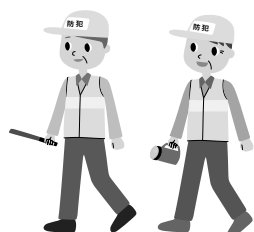
10月 全国地域安全運動

12月 年末特別警戒活動

4月から12月まで月2回防犯指導委員で地区内防犯パトロールを行います。

中之条にお住まいの皆様が日々「安心して安全に」過ごせます様、防犯部の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。

一年間、よろしくお願いいたします。



第八分団より

班長 中沢 悟朗

避難指示が出るほどの大雨あまつさえ千曲川の堤防が崩落するなど、自分にとってはまったくの想定外でした。消防団でありながら情けない限りですが、上田は自然災害が少ないという神話の下、台風に備えるのは他所の話とする甘えが、確かにありました。もはや絶対に安全な場所など存在しない、自然災害はいつだって起こりうる、昨年の台風による教訓です。スローガンめいた表層的な言葉は、時間の経過と共に忘れ去られていきますが、この教訓は一生涯忘れないでしよう。サイレンを鳴り響かせて、避難所に急ぐよう拡声器で呼びかけながら、有事の際に消防署や自衛隊よりも迅速に動けるのは、すなわち住民の命を救うのは、我々だと感じていました。あくまで硬直したシステムに弊害があり、気候変動が問題となる今、消防団の存在意義は急速に高まっていると言えます。第6分団は今後も地域防災の担い手として、静かに過ぎていく日常を守り続ける所存です。

農業協議会より

会長 中沢 守人

去る一月二十六日に令和二年度の総会が開催され、予算案等をご承認いただき、新体制がスタートしました。この一年、皆様のご指導、ご協力をよりしく願います。

このところ中之条では大規模な宅地造成が続いており、ここ数年の間にのどかな田園風景はほぼ姿を消しました。農家組合員も減少の一途です。時代の流れとはいえ、この地域の農業の急激な衰退に危うさを覚えます。

いま、「地消地産」（地域で食べるものはその地域で作る）が提唱されており、まっとうな考え方だと思います。異常気象で食糧危機が起こった場合にも、身近な所で米や野菜が作られていれば少しは安心できるというものです。長い目で見れば、地元の農業を大切にして次の時代へつなげていくことは、将来の中之条の安全安心につながることにしたいと思います。

農家が減ったとはいえ、中之条には農業を頑張っておられる方がまだまだ大勢おられます。非農家の自治会員におかれても、地元の農業に関心を持っていただき、頑張っている農家を応援していただければ有り難いです。

営農推進委員会より

委員長 田中 利明

昭和五十六年に減反転作推進委員会として発足した営農推進委員会ですが、令和二年の今年で一区切りとなります。

中之条では近年多くの農地が宅地化され、稲作農家も激減、それに伴い営農推進委員会が行う現地確認調査地点も減少しています。そのような背景もあり、昨年度の新年総会で農業協議会と営農推進委員の兼務をご承認いただきました。これにより、営農推進委員会単独での活動は本年が最後になり、来年度から農業協議会と一体化することになります。

本年度までは現地確認調査の際に農業協議会三役の応援をいただくことができますが、来年度からは農業協議会と営農推進委員が兼務となるため、応援をいただくことができなくなります。

本年の新年総会で「営農推進委員退任後、次の現地確認調査にご協力いただく件」を提案させていただきました。ご承認いただきました。営農推進委員退任後にも現地確認調査の応援依頼がありましたら、ご面倒をおかけいたしますがご協力をお願いいたします。

精穀所組合より

組合長 尾崎 政司

今年の冬は記録に無い暖かさといふ雪の日が続いております。このほど私こと尾崎政司は精穀所組合長を仰せつかることになりました。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

中之条においては農地の宅地化が進み、農業を営むには年々厳しい環境になってはおります。

精穀所の利用においても、昨年の加工量は四半世紀前に比べ、初摺りで8割減、精米においては9割以上減少しており、運営が限界にきております。

平成三十年の総会で決議された通り、令和二年をもって営業を終了します。

戦後の食糧不足の時代に前身がスタートし、昭和、平成、令和と活動してまいりましたが、令和二年十一月をもって終了いたします。長らくのご利用有難うございます。新年早々寂しい話になってしまいました。最後、今年一年が皆様に実り多き年となるよう願っております。

山林組合総会報告

山林組合長 田中 忠男

令和二年度山林組合第五十回総会が、一月十九日十三時五十分より十四時五十分まで組合員数百一名中、三十二名が出席、委任状提出者二十七名の下、公民館大広間で開催されました。

主要事項としましては、今後二年間の執行役員の選任、規約第七条に「退会者に対し退会慰労金を支払う事が出来る」を加入し、それに伴い内規に具体的金額三千円と、組合費の具体的金額千五百円を加入した事、総収入百十二万七千四百五十八円、総支出十八万四千三百三十二円、差引残高九十四万七千二百六十六円の令和元年度会計報告、令和二年度予算は百十万七千五百三十六円で執行する事、二年度山林作業は無い事、現段階で計画は無いが、予期せぬ山林作業が発生した場合に備えての山林作業手当てについて、大沢山・硯沢山七千円、紅平山六千円と従来通りとする事、欠勤料は五千円とする事、退会申出者が六名有り、退会慰労金を従来通り三千円お支払いする事、組合費についても従前通り千五百円とする事等が決定され総会を終了しました。

中之条の世帯数と人口

市の統計によれば、現在、中之条の世帯数・人口はともに増加傾向が続いています。世帯の小規模化や核家族化で、伝統的な地縁や血縁による地域社会の支え合いの機能は弱まっています。地域での支え合いを担ってきた自治会は、災害が多発するようになったことでその役割が見直されてきています。人々のライフスタイルが多様化し、仕事や子育て、介護などで活動を引き受けられない人も多くなっています。

中之条自治会の区域の世帯数・人口

	H31.2.1	R2.2.1	増加数
世帯数	1,515	1,536	21
人口	3,620	3,651	31

ブロック別自治会加入世帯数 (令和2.2.9現在)

ブロック	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	合計
世帯数	94	151	185	75	170	139	120	125	1,059

令和二年度
役員紹介

(敬称略)

四役

自治会長 西澤 信義

副自治会長 中澤 伸夫

会計 羽田 幸彦

総務部長 武石 一幸

協議員 ブロック長

第一 中沢 克友

第二 山岸 丈貢

第三 岡田 基幸

第四 松本 博

第五 中沢 哲也

第六 田中 賢一

第七 伝田 直人

第八 佐藤 忠明

協議員 副ブロック長

第一 滝沢幸次郎

第二 松村 修二

第三 西沢 正樹

第四 飯塚 弘之

第五 須崎 大馬

第六 池田 浩生

第七 清水 洋

第八 宮原 正幸

特別協議員

公民館長 中澤 政嗣

市議会議員 小坂井二郎

生活環境部

部長 松村 修二

第一 田沼 忍

第二 荻原 宏樹

第三

第四

第五

第六

第七

第八

土木部

部長

第一

第二

第三

第四

第五

第六

第七

第八

安全部

部長

第一

第二

第三

第四

第五

第六

第七

第八

田中 智志

原 秀子

横 賢一

高木 博輝

森泉 明英

小宮山正治

西沢 正樹

上野 千晴

金森 徳夫

滝沢 佳久

増田 明美

藤 一之

田中 栄一

金井 隆志

西沢 清

滝沢幸次郎

西村 純一

星谷 和子

加納 大介

北沢 朝海

高橋 良人

中沢 紀子

村山 直樹

山田 恵美

沓掛 勇二

須崎 梨沙

石崎 広志

吉原 静枝

柳沢 伸二

伝田久美子

竹内 宏一

伊藤 恭子

防犯部

部長

第一

第二

第三

第四

第五

第六

第七

第八

自治会費審議委員

第一

第二

第三

第四

第五

第六

第七

第八

健康推進委員

第一

第二

第三

第四

第五

第六

第七

第八

ふれあい協議会

会長

民生児童委員

主任児童委員

岡村さつき

飯塚 弘之

和田 淳

横尾 泰彦

西沢 道弘

伊藤 義尚

田中 和穂

守 清志

宮川 哲治

下條 勝

中沢 克友

塩寄 泰

中沢 守人

松本 博

岡村 学

斉藤 圭司

小島 英樹

金野 史華

滝澤 弘子

田中 映子

宮沢 友里

羽田 真也

須崎 美代

小澤 宏次

市川千恵子

横沢 幸枝

田中 康子

藤松 則子

西澤 康彦

吉原 静枝

岡村さつき

少年補導委員

竹内 攻一

青少年健全育成会

会長

片所 由生

田中 康子

南 賢二

西澤 信義

中澤 照夫

西澤 信義

滝澤 安夫

中澤 政嗣

中沢 守人

西沢 孝夫

須崎久美子

小坂井 晃

田中 忠男

田中 文紀

田中 利明

西澤 貴志

根本 賢次

西澤 信義

田中 智志

中澤 伸夫

中谷 莊司

尾崎 政司

田中 良和

田中 智志

六川 百代

委員

組合長

副組合長

田中 智志

委員

齊藤 嘉市

田中 良和

田中 智志

西沢 利明

武石 一幸

金井 隆志

田中 清志

田中 利明

中川 明美

外部集金係

山林組合

組合長

副組合長

田中 忠男

丸山 正幸

田中 利典

高橋 義幸

田中 利典

中谷 莊司

中澤 史典

山岸 幸憲

上条 隆男

神谷 博継

西澤 啓男

西澤 信義

滝沢幸次郎

須崎 梨沙

中沢 悟朗

西澤 安隆

砥石 剛志

中澤 政彦

佐生 惇

齊藤 嘉市

田中 良和

田中 智志

西沢 利明

武石 一幸

金井 隆志

田中 清志

田中 利明

中川 明美

田中 忠男

丸山 正幸

田中 利典

高橋 義幸

田中 利典

中谷 莊司

中澤 史典

山岸 幸憲

上条 隆男

神谷 博継

西澤 啓男

西澤 信義

滝沢幸次郎

須崎 梨沙

中沢 悟朗

西澤 安隆

砥石 剛志

中澤 政彦

佐生 惇

竹田 慎

2020年度 中之条防災隊編成表

(敬称略・順不同)(1月31日改訂)

本部	(自治会長) [隊長] 西澤信義 090-3143-0236 (副自治会長) (会計) (総務部長) (公民館長) [副隊長] 中澤伸夫 羽田幸彦 武石一幸 中澤政嗣 080-1133-9710 090-9829-7547 090-4748-4896 090-5403-3362 (第1副ブロック長) (第2副ブロック長) (第3副ブロック長) (第4副ブロック長) (第5副ブロック長) (第6副ブロック長) (第7副ブロック長) (第8副ブロック長) [隊員] 滝沢幸次郎 松村修二 西沢正樹 飯塚弘之 須崎大馬 池田浩生 清水 洋 宮原正幸 (防火管理者) 西澤信義
情報伝達班	(公民館主事) [班長] 須崎博雄 090-1400-4746 [班員] 〈ブロック長・班長〉
消防水防班	(防火管理者) [班長] 西澤信義 090-3143-0236 [副班長] 中澤悟朗 西澤安隆 [班員] 〈出動できる自治会員〉
避難誘導班	(公民館長) [班長] 中澤政嗣 090-5403-3362 (第1ブロック長) (第2ブロック長) (第3ブロック長) (第4ブロック長) (第5ブロック長) (第6ブロック長) (第7ブロック長) (第8ブロック長) [副班長] 中沢克友 山岸丈貢 岡田基幸 松本 博 中沢哲也 田中賢一 伝田直人 佐藤忠明
救護救出班	(生活環境部長) [班長] 松村修二 090-9004-1025 (生活環境部員) (生活環境部員) (生活環境部員) (生活環境部員) (生活環境部員) (生活環境部員) (生活環境部員) (生活環境部員) [副班長] 田沼 忍 荻原宏樹 田中智志 原 秀子 横嵐賢一 高木博輝 森泉明英 小宮山正治 (ふれあい協議会長) (健康推進委員) (健康推進委員) (健康推進委員) (健康推進委員) (健康推進委員) (健康推進委員) [班員] 田中康子 滝澤弘子 田中映子 宮沢友里 羽田真也 須崎美代 [班員] 〈自治会員〉
給食給水班	(副館長) [班長] 南 賢二 080-6996-0373 (も〜いい会) [副班長] 西沢一江 (健康推進委員) (健康推進委員) (健康推進委員) (青少年健全育成会長) [班員] 小澤宏次 市川千恵子 横沢幸枝 片所由生 [班員] (小中学校PTA)、(公民館女性クラブ員)
防犯班	(防犯部長) [班長] 飯塚弘之 090-2210-6052 (安全部長) [副班長] 滝沢幸次郎 (防犯指導委員) (防犯指導委員) (防犯指導委員) (防犯指導委員) (防犯指導委員) (防犯指導委員) (防犯指導委員) (防犯指導委員) [班員] 和田 淳 横尾泰彦 西沢道弘 伊藤義尚 田中和穂 守 清志 宮川哲治 下條 勝 [班員] 〈自治会員〉
災害復旧班	(土木部長) [班長] 西沢正樹 23-3780 (土木部員) (土木部員) (土木部員) (土木部員) (土木部員) (土木部員) (土木部員) (土木部員) [副班長] 上野千晴 金森徳夫 滝沢佳久 増田明美 藤 一之 田中栄一 金井隆志 西澤 清 [班員] 〈自治会員〉
通報機関	上田消防署 119 (緊急以外は26-0119) 上田警察署 110 (緊急以外は22-0110) 上田市役所 22-4100 上田ガス 22-0454 中部電力上田営業所 22-1240

◎隊員をお願いした皆様には、有事の際、ご協力をよろしくお願い致します。

公民館活動の船出です

公民館長 中澤 政嗣



地球温暖化が如実に表れて来ているようで、暖冬の様相と共に春が間近に迫ってきている今日この頃となってきました。

昨年暮れに西澤自治会長並びに前中澤自治会長・高橋前副自治会長のお三方より、公民館長にとお話があり、私も生まれ育った地元になんとも力添えが出来ればと思ってお引き受け致しました。

昨年、公民館活動に多大なるご協力を頂きました皆様方には大変感謝申し上げます。本年度、ご苦勞頂く南副館長・須崎主事・沓掛会計・竹内青少年育成指導員・各ブロック自治委員・各クラブの皆様と「中之条丸」を漕ぎ出し船出したいと考えております。中之条は利便性があるように、年々人口が増加の一途を辿り、平均年齢も若くなって

きております。次世代を担っていかれる子供さんも大勢おり、活気あふれる自治会となってきたと思います。公民館活動を通じて、区民の皆様大勢の方々の「人と人」のふれあいが図れるような活動を進めてまいりたいと考えております。

昨年快挙を成し遂げたラグビーの「ワンチーム」にあり、区民の皆様方と一体となれる様、この一年を頑張っていきたいと思っておりますので、絶大なるご協力・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

本年度行事予定

◆**体育活動**

区民球技大会 (六月)
ソフトボール
ビーチバレーボール

城南公民館
ベタンク大会 (五月)
ニュースポーツ交流会 (六月)
(PTA) (十月)
運動会
区民レクリエーション
ベタンク大会 (十一月)

◆**文化活動**

道祖神祭り
(育成会 PTA) (一月)
上田わっしょい (七月)

ふるさと夏祭り (八月)
しいのみ園合同文化祭 (十月)
城南地区文化祭 (十一月)
中之条公民館
各部活動報告会 (十一月)
親子しめ縄教室 (十二月)

◆**社会教育活動**

人権講座 (六月)
青少年健全育成懇談会 (六月)
人権同和教育懇談会 (十月)

2020年度役員及び運営委員紹介 (敬称略)

館長 中澤政嗣 (五B)
副館長 南 賢二 (六B)
主事 須崎博雄 (五B)
会計 沓掛勇二 (五B)
青少年育成推進指導員 竹内宏一 (八B)

自治(運営)委員

第一ブロック	手塚 孝
第二ブロック	矢島 敏
第三ブロック	飯田 肇
第四ブロック	平塚 直也
第五ブロック	湯本 昭夫
第六ブロック	舟田 良一
第七ブロック	藤井 秀樹
第八ブロック	斎藤 礼
第九ブロック	佐久間信次
第十ブロック	中澤 孝
第十一ブロック	根木 賢治
第十二ブロック	中澤 孝光
第十三ブロック	小宮山敏晴
第十四ブロック	古関 貴士

柄澤今朝則
青少年健全育成会長

片所 由生
PTA中学校支部長

滝沢 真樹
PTA小学校支部長

宮沢 藍
ふれあい協議会長

田中 康子
◆**クラブ長**

ソフトボールクラブ 石崎 広志
花と緑の会 西澤 和也
囲碁クラブ 中沢 守人
カラオケクラブ 佐原紀代子

090-8420-3854
もいい会 西澤 一江
090-8326-7902
フラ・アロハ 山岸 久子
090-3209-6514
大正琴クラブ 宮下ふさえ
022-6276
中之条バックアップクラブ 塚田 吉和
090-9665-4044
各クラブで、新入会員を募集しております。お申し込みは各クラブ長までお願いいたします。

趣味は心の豊かさを広めると思いますが如何でしょう。皆さんとふれあいましょう。

道祖神祭りの様子

一月二十五日に行われた道祖神祭りの様子を紹介します。夕方より、八か所の道祖神に子供たちと親御さんが集まり、子供たちはお参りの方々が太鼓や鐘を鳴らし、元氣よく練り歩いていました。

皆さん、そろそろ集まり始めました



六工部の子供たち、お参りにきてねーと心待ち

四つ谷の道祖神にお参り、何をお願いしているのかな?



本誌の他、各部道祖神の様子は、自治会ホームページに掲載していますのでご覧下さい。

宮川神社より

総代 中澤 保夫

中之条自治会、氏子会の皆様方には、日頃から宮川神社の諸行事にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、令和元年六月より、三峯神社の改設工事が始まり八月には設置が完了、九月に秩父三峯神社へお礼を頂きに行き、三峯社納めて完了しました。氏子会、加藤建具店、宮係の皆様のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。お陰様で立派な三峯社が完成できました。

又昨年度は、台風十九号により長野県内は大変大きな被害があり、幸いにもこの地域に、避難勧告が出ましたが、最小限の被害で済みましたが宮川神社の稲荷社の狐像に、倒木で、少し耳が破損してしまいました。

既にご承知の通り宮川神社は約千年以上の歴史があり、親鸞上人が二、三千年間、中之条村宮川神社に滞在して居たことが明らかにされています。武田信玄が上田原の合戦に、本陣を置き、飛翔祈願をした由緒ある宮川神社でもあります。昔から、中之条の文化遺産で、この先も我々を見守ってくれる氏神様であり、次の世代へ、引き継ぐ責任の重さを、つくづく実感しております。神社は、氏子会によつて護持運営されております。自治会の皆様にはぜひ氏子会に入会され、宮川神社を守って行くために、なにとぞご協力を賜ります様、重ねてお願い申し上げます。

又、入会される方がありましたら、近くの宮係までご連絡をお願い致します。

一月十二日、天候にも恵まれ初仕事の神願の綱擲りに大勢の氏子の皆様にお集まり頂き、鳥居の後ろの大木に神縄を奉納する事が出来ました。

宮川神社年間行事予定

一月一日 初詣
一月五日 定期総会
一月十二日 神願の綱擲
二月八日 初午祭
三月十五日 新入学児童安全祈願祭
ソフトボール部必勝祈願祭
四月四日、五日 春祭り
十月三日、四日 秋祭り
十二月十三日 大祓い
十二月三十一日 二年詣り

令和二年度宮係（敬称略）

総代（宮方） 中澤保夫
副総代（新道） 田中清志
会計（下組） 桑原秀明
齋田係（六工南） 田中栄一
研修係（柳堂） 柳沢進
会計顧問（六工東） 西澤康彦
齋田係顧問（上組） 丸山修生

精穀所閉鎖について

尾崎 政司

中之条精穀所は昭和二十二年に共同精穀所を建設しようという話を持ち上がりその前身ができました。当時はまだ戦後間もないころで、食糧不足の時代であり、粃摺り、精米を外に出すと一部を搾取される心配があり、精穀所建設の気運が高まったと思われる。当時の中之条は一村で当時の経済規模から見ると、一大事業であり、一つの村で精穀所を所有することは他に比べ画期的なことであった。その後、二回の移転を経て、現在の位置になり、昭和五十二年に自治会から、山林組合員を含めた農家組合員で運営されることとなり【中之条精穀所組合】と改称され現在に至っております。

出荷米においても、JAが精穀所の方へ引き取りにきてくれることは、JAからも重要視されていた施設かどうかがい知れることである。

しかし、近年の農業離れにより米作の減少と共にその役割を令和二年十一月をもって終了することとなりました。

その後は精算委員会（仮称）で解体・整地を行います。
精算委員 西澤 信義
中澤 伸夫
土屋 恵嗣
中沢 茂
金井 隆志
尾崎 政司

尚、多年にわたり、地域の農業に貢献してきた施設なので、解散会及び備品の入札会を行います。事前にご通知しますので、ご希望の方は参加をお願いいたします。

おくやみ

第一六九号掲載以降、令和元年十二月にお亡くなりになりました。

第二ブロック

十二月 唐木田運平さん 八四歳

第五ブロック

十二月 田中 敏夫さん 八二歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。（合掌）

令和元年十二月末日現在



編集後記

二〇〇〇万円問題に関心を持った人は多かったと思いますが、それを受けて、実際に行動に移した人は少ないのではないのでしょうか。将来への不安はあっても、「いずれそのうちにやれば」と考えている人や、「具体的にどう行動して良いのか分からない」人が多いのではないかと思います。新しいことに挑む際、第一歩を踏み出すのは心理的に抵抗があったりしますが、その分、重要なことだと思います。一歩目が踏み出せれば、二歩目、三歩目と、その後がスムーズに進むこともよくあることだと思います。資産形成のためには、情報を集めたり勉強したりすることも必要になってくるでしょう。

二〇二〇年という区切りの年に、将来のために、資産形成の第一歩目を踏み出してみたいかがでしょうか。今年度は左の七名で千曲藻の編集を担当します。ご協力をよろしく願います。

編集委員

岡田 基幸 松本 博
中沢 哲也 池田 浩生
清水 洋 宮原 正幸
武石 一幸